

イタチハギ

(*Amorpha fruticosa*) マメ^{もく}目マメ^か科



【生息地】^{せいそくち}道端^{みちばた}、^{かせんしき}河川敷^{あれち}、^{かいがん}荒地^{かいがん}、^{かいがん}海岸

【大きさ】^{おお}高温^{こうおん}や^{かんそう}乾燥^{つよ}に強く、^{じゅもく}樹木^{たか}の^{たか}高さは1～5m

【特徴】^{とくちょう}空気中^{くうきちゅう}の^{ちっそ}窒素^{ようぶん}を^{たいない}養分^{ちょぞう}として体内^{ちょぞう}に^{えいよう}貯蔵^{すく}できるため、^{とち}栄養^{げんき}の^{そだ}少ない土地^{そだ}でも元気に育つよ。

【雑学】^{ざつがく}穂状^{ほじょう}に^{あつ}集まった^{はな}花^{しっぽ}がイタチの^{しっぽ}尻尾^にに似ていることから
この^{なまえ}名前^{なまえ}がついたよ。

^{きた}北^{げんさん}アメリカ^{かんこく}原産^{いにゅう}で韓国^{がいらいしよくぶつ}から移入^{がいらいしよくぶつ}された外来植物だよ。

^{りよくか}緑化^{しよくぶつ}（植物^{じめん}で地面^{ざいりょう}をおおうこと）の材料^{つか}として使われ
ているよ。

マルバルコウ

(*Ipomoea coccinea*) ナス^{もく}目^かヒルガオ科



【生息地】^{せいそくち}道端^{みちばた}や^あ空き^ち地^{かんそう}など、乾燥^あして^{ばしょ}荒れた場所

【大きさ】^{おお}長さ^{なが}約^{やく}3m^{せいちょう}に成長する。

【特 徴】^{とくちょう}花^{はな}は^{せいそくち}ラッパ^{ごかけい}のような^{かたち}五角形^{ごかくけい}の形^{かたち}をしているよ。

^{がつ}8月^{がつ}～^{きれい}10月^{しゅいろ}にかけて^{はな}綺麗な^さ朱色^{しゅいろ}の花^{はな}を^{さい}咲かすよ。

アサガオの^{なかま}仲間^{はな}だけど^{ちい}花^{はな}は^{ちい}2cm^{ちい}くらいで^{ちい}小さいよ。

【雑 学】^{ざつがく}江戸^{えどじだい}時代^{まつき}の^{きた}末期^{かんしょうよう}に^{かんしょうよう}北^{かんしょうよう}アメリカ^{かんしょうよう}から^{かんしょうよう}観賞用^{かんしょうよう}として^{かんしょうよう}やってきたよ。

キショウブ

(*Iris pseudacorus*) キジカクシ^{もく}目^かアヤメ科



【生息地】^{せいそくち} 日^ひ当^あた^りの良^よい水^み辺^{ずべ}な^{しめ}どの湿^{しめ}った場^ば所^{しょ}

【大^{おお}き^ささ】花^{かけい}茎^{たか}の高^{たか}さは60～100cm

【特^{とく}徴^{ちょう}】4月^{がつ}～6月^{がつ}に黄^{きいろ}色^{うつく}の美^{はな}しい花^さを咲^さかすよ。

外^{そと}側^{がわ}と内^{うち}側^{がわ}に3枚^{まい}ず^かつ^{べん}つ花^か弁^{べん}があるよ。

【雑^{ざつ}学^{がく}】明^{めい}治^じ時^じ代^{だい}にヨ^よーロ^ろッ^っパ^ぱか^から観^{かん}賞^{しょう}用^{よう}に持^もち込^こま^しれた植^{しょく}物^{ぶつ}
で、日^に本^{ほん}の侵^{しん}略^{りゃく}的^{てき}外^{がい}来^{らい}種^{しゅ}ワ^わース^すト100に指^し定^{てい}されて
いるよ。

属^{ぞく}名^{めい}のIrisはギ^ごリ^にシャ^じ語^ごで「虹^{にじ}」の意^い味^みだよ。

ナヨクサフジ

(*Vicia villosa*) マメ^{もく}目マメ^か科



【生息地】^{せいそくち}日^ひ当^あた^よりの良^{みちばた}い道^あ端^ち、荒^{かわら}れ地^{かわら}、河^{かわら}原^{かわら}

【大^{おお}きさ】草^く丈^さは約^{やく}2mまで伸^のびるよ。

【特^{とく}徴^{ちょう}】4月^{がつ}～8月^{がつ}に青^あ紫^{おむらさき}色^{いろ}の花^{はな}を咲^さかすよ。

葉^はの先^{さき}に巻^まき毛^けがあ^{ほか}って他^{ほか}のものに^{ほか}からみつくよ。

【雑^{ざつ}学^{がく}】昭^{しょう}和^わ初^し期^{よき}にヨ^よーロ^ろッパ^ぱから家^か畜^{ちく}のエ^えサ^さや肥^ひ料^{りょう}として

日^に本^{ほん}に持^もち込^こまれた帰^き化^{かし}植^{しょく}物^{ぶつ}だよ。

花^{はな}が咲^さいた様^{よう}子^すがフ^ふジの花^{はな}に似^にていることからこの
名^な前^{まえ}が付^つけられたよ。

ササバモ

(*Potamogeton malaianus*) オモダカ目ヒルムシロ科



【^{せいそくち}生息地^{こしょう}湖沼^{かせん}、^{すいろ}河川^{水路}】

【^{おお}大きさ^{すいちゅう}水中^{くき}の^{なが}茎^がが^{とても}とても^{長く}長く^{3m}3m^{ほど}ほど^{になるよ。}になるよ。

【^{とくちょう}特徴^{かい}花^{じき}の^が時期^がは^{がつ}7月^が～^{がつごろ}9月^頃頃^{だよ。}だよ。

^{かい}開^か花^じ時^ちに^ち直^{すい}立^{めん}して^つ水^で面^はか^なら^さ突^{かい}き^か出^かて^か花^いを^か咲^かか^せせ[、]開^か花^いが^お終^{すい}わ^{ちゅう}る^しと^ず水^す中^いに^し沈^ずむ^{よ。}よ。

^ふ普^だ段^んは^み水^みの^ず中^なで^か成^{せい}長^{ちよう}する^けど[、]水^す位^いが^さ下^がが^ると^水面^{めん}より^す上^いに^さ茎^がを^す伸^いば^すす^{よ。}よ。

【^ざ雑^が学^く】^{かん}乾^{そう}燥^{まつ}さ^{つか}せ^おた^おサ^しサ^かバ^けモ^は祭^{まつ}り^で使^{つか}う^お大^お獅^お子^しの^か髪^かの^け毛^にに^{つか}使^{つか}わ^れる^こと^もあ^るよ[。]。

キュウリグサ

(*Trigonotis peduncularis*) ムラサキ^{もく}目ムラサキ^か科



【生息地】^{せいそくち}日本中の道^{にほんじゅう}ばた、^{みち}畑^{はたけ}

【大きさ】^{おお}草丈^{くさたけ}は 1 5 ～ 3 0 cm

【特 徴】^{とくちょう}3 月～5 月にかけて、^{がつ}淡い^{あわ}青紫色^{あおむらさき}の花^{はな}を咲^さかすよ。

^{じょうほう}上方^はの葉^はは細^ほ長^{そなが}いたまご形^{がた}、根^ね元^{もと}の葉^ははスプーン形^{がた}。

^{わか}若い^{くき}茎^はや葉^はは山菜^{さんさいりょうり}料理^{つか}にも使^{つか}われているよ。

【雑 学】^{ざつがく}葉^はや茎^{くき}をもんだり、こするとキュウリの香^{かお}りがするこ
とからこの名^{なまえ}前^{まえ}がついたよ。

キツネノボタン

(*Ranunculus silerifolius*) キンポウゲ^{もく}目キンポウゲ^か科



【生息地】^{せいそくち}川^{かわ}や水田^{すいでん}の近く^{ちか}など、^{しめ}湿^{ばしょ}っている場所

【大きさ】^{おお}草丈^{くさたけ}は 1 5 ～ 8 0 cm

【特 徴】^{とくちょう}4 月～8 月に^{がつ}光沢^{こうたく}がある^{きいろ}黄色^{はな}い花^さを咲かすよ。

^{かいかご}開花^{かじつ}後にコンペイトウのような果実^{かじつ}がつくよ。

^は葉^{くき}や^{どく}茎^{どく}には毒^{どく}があるよ。

【雑 学】^{ざつがく}葉^はの形^{かたち}が牡丹^{ぼたん}の葉^はに似^にていることから「^{きつね}狐^{ぼたん}の牡丹^{ぼたん}」
^{なまえ}の名前^{なまえ}がついたよ。

ハハコグサ

(*Pseudognaphalium affine*) キク目^{もく}キク科^か



【生息地^{せいそくち}】 日^ひ当たり^ありのいい^ち荒れ地^{みちばた}、道端^{はたけ}、畑^た、田んぼ

【大き^{おお}さ】 10～30cm

【特^{とく}徴^{ちょう}】 4月^{がつ}～6月^{がつ}に黄色^{きいろ}い花^{はな}を咲^さかすよ。

実^みは綿毛^{わたげ}をつけてタンポポ^{おな}と同じ^{かぜ}ように風^のに乗せて
種^{しゅし}子を飛^とばすよ。

若芽^{わかめ}は食用^{しょくよう}になって春^{はる}の七草^{ななくさ}としてお粥^{かゆ}にいたり、
餅^{もち}に混^まぜて草餅^{くさもち}にするよ。

【雑^{ざつ}学^{がく}】 春^{はる}の季語^{きご}として古^{ふる}くから俳句^{はいく}や短歌^{たんか}に使^{つか}われているよ。

マグワ

(*Morus alba*) バラ^{もく}目クワ^か科



【生息地】^{せいそくち}川沿い^{かわぞ}の日当たり^{ひあ}の良^よい場所^{ばしょ}、^{しっち}湿地

【大^{おお}きさ】樹木^{じゅもく}の高^{たか}さは6～10m

【特^{とく}徴^{ちよう}】同^{おな}じ木^きでも葉^はの形^{かたち}が色^{いろ}々^{いろ}あるよ。

【雑^{ざつ}学^{がく}】幹^{みき}は木材^{もくざい}として高^{こう}級^{きゅう}な家^か具^ぐや建^{たて}物^{もの}の床^{ゆか}に使^{つか}われているよ。

^{くろ}黒^{じゅく}っぽく熟^{かじつ}した果^た実^じは食^{あま}べると、甘^あ酸^じっぱい味^{あじ}がするよ。

^{むかし}昔^がはカイコ^が（蛾）のエサ^{つか}に使^{つか}われていたよ。

オオキンケイギク

(*Coreopsis lanceolata*) キク^{もく}目キク^か科



【生息地】^{せいそくち}道路、^{どうろ}川沿い、^{かわぞ}荒れ地^{あち}

【大きさ】^{おお}高さは30～70cm^{たか}

【特徴】^{とくちょう}種には風を使って移動させるための小さな翼^{ちい}がついて^{つばさ}いるよ。

^{がつ}5月～7月^{がつ}に黄色の花^{きいろ}を咲かせるよ。^{はな}^さ

【雑学】^{ざつがく}観賞用として北アメリカから持ち込まれたよ。^{かんしょうよう}^{きた}^も^こ

^{がいらいせいぶつほう}外来生物法^{とくていがいらいせいぶつ}で特定外来生物に指定されているよ。^{してい}

コバンソウ

(*Briza maxima*) イネ^{もく}目^かイネ科



【生息地】^{せいそくち} 日^ひ当^あた^りの良^よい荒^あれた場^ば所^{しょ}

【大^{おお}きさ】^{たか} 高^{たか}さは10～60cm

【特^{とく}徴^{ちょう}】イネ^{いね}の仲^{なか}間^まで「穂^ほ」をた^たくさんつ^つけるよ。

実^みには毛^けが生^はえていて、つ^つやがあるよう^{よう}に見^みえるよ。

【雑^{ざつ}学^{がく}】実^みの形^{かたち}が「小^こ判^{ばん}」に^に似^にているからこの名^な前^{まえ}が付^ついたよ。

タワラムギ^{たわらむぎ}（俵^{たわら}麦^{むぎ}）の名^な前^{まえ}で呼^よばれることもあるよ。

オオカナダモ

(*Egeria densa*) オモダカ目トチカガミ科



【生息地】 日当たりの良い、水の流^{なが}れが緩^{ゆる}やかな浅^{あさ}い河川^{かせん}や水路^{すいろ}

【大^{おお}きさ】 茎^{くき}の太^{ふと}さは2～3 mm、草丈^{くさたけ}は1 m

【特^{とく}徴^{ちよう}】 初^{しょ}夏^かから秋^{あき}にかけて白^{しろ}色^{いろ}の花^{はな}を咲^さかすよ。

無^む機^き養^{よう}分^{ぶん}の吸^{きゅう}収^{しゅう}力^{りょく}が強^{つよ}く、水^{すい}質^{しつ}の汚^{よご}れにも強^{つよ}いよ。

【雑^{ざつ}学^{がく}】 日^に本^{ほん}にはオスしかいなくて、切^きれたところから根^ねを
出^だして増^ふえていくよ。

日^に本^{ほん}の侵^{しん}略^{りゃく}的^{てき}外^が来^{らい}種^{しゆ}ワースト100に登^{とう}録^{ろく}されているよ。

シロツメクサ

(*Trifolium repens*) マメ^{もく}目マメ^か科



【生息地】^{せいそくち}日当たりの良い、^{ひあ}湿^よった場所^{しめ ばしよ}

【大きさ】^{おお}草丈は10～20cm^{くさたけ}

【特 徴】^{とくちょう}小さな花^{ちい はな}がたくさん集^{あつ}まって、丸いボール状の花^{まる じょう はな}をつ^{つく}作^{つく}っているよ。

^{かちく}家畜のエサや^{はたけ}畑の^{ひりょう}肥料にも^{つか}使われているよ。

【雑 学】^{ざつがく}海外では、^{かいがい}ガラスの器^{うつわ}を守るために^{まも}箱^{はこ}の詰^つめ物^{もの}として^{つか}使^{なまえ}われていたことからこの名前がついたよ。

^{はなことば}花言葉は^{こうふく}幸福、^{やくそく}約束、^{ふくしゅう}復讐だよ。

ナンキンハゼ

(*Triadica sebifera*) キントラノオ目トウダイグサ科



【生息地】^{せいそくち}川の土手や^{かわ}中州、^{どて}街路、^{なかす}公園

【大きさ】^{おお}樹高は約15m

【特徴】^{とくちょう}夏には枝先に10cm程の^{なつ}黄色くて^{えださき}細長い^{ほど}花が^{きいろ}咲くよ。

^み実は^{はいいろ}灰色がかった^{ちゃいろ}茶色で^{ふきそく}不規則に^{たて}縦に^さ裂けるよ。

^は葉は^{あき}秋になると^{あか}オレンジ、^{むらさき}赤、^{さまざま}紫など^{いろ}様々な色に^{こうよう}紅葉するよ。

【雑学】^{ざつがく}江戸時代に^{えどじだい}中国から^{ちゅうごく}日本に^{にほん}持ち込まれて^も全国に^こ広がったよ。

ニホンハッカ

(*Mentha canadensis*) シソ^{もく}目シソ^か科



【生息地】^{せいそくち}日本各地の水^に辺^{ほんかくち}など湿^{みずべ}った場所^{しめ ばしょ}

【大きさ】^{おお}草丈^{くさたけ}は約^{やく}40～70cm

【特 徴】^{とくちょう}8月～10月に紫^{がっ}と白^{がっ}色の小^{むらさき}さな花^{しろいろ}が沢^{ちい}山^{はな}咲^{たくさん}くよ。^さ

【雑 学】^{ざつがく}「スー^{かお}スー^{とくちょう}」とした香^{いやくひん}りが特^{しよくひん}徴^{しよくひん}で、医^{いやくひん}薬^{しよくひん}品^{しよくひん}や食^{しよくひん}品^{しよくひん}の
香^{こうりょう}料^{りょう}として使^{つか}わ^{つか}れ^{つか}て^{つか}い^{つか}る^{つか}よ。

ミントはニホンハッカの仲^{なかま}間^{なかま}だよ。

ニホンハッカに多^{おお}く含^{ふく}ま^{ふく}れるメ^おント^おール^おは、胃^い腸^{ちよう}の
調^{ちようし}子^しを整^{ととの}え^{ととの}る効^{こう}果^かがあるよ。

アレチハナガサ

(*Verbena brasiliensis*) ^{もく}シソ目 ^かクマツヅラ科



【^{せいそくち}生息地】^{かんそう}乾燥した^{あれち}荒地、^{こうち}耕地、^{かせんじき}河川敷、^{しっち}湿地

【^{おお}大きさ】^{くさたけ}草丈は約 1 ~ 2 m ^{やく}

【^{とくちょう}特徴】^{はな}同じ外来種^{がいらいしゅ}のヤナギハナガサ^にによく似ているよ。

^{くき}茎には^{あら}荒い毛^けがついていて、^{しかっけい}四角形をしているよ。

^{はな}花は^{あわ}淡い^{むらさきいろ}紫色で、^{なが}長い^{あいださ}間咲いているよ。

【^{ざつがく}雑学】^{もともと}元々は^{みなみ}南アメリカ^{せいそく}に生息^{がいらいしゅ}している外来種だよ。

ナガミヒナゲシ

(*Papaver dubium*) ケシ^{もく}目^かケシ科



【生息地】^{せいそくち} 道路^{どうろ}の路肩^{ろかた}や中央分離帯^{ちゅうおうぶんりたい}、^あ空き地^ち、^あ荒地^ち

【大きさ】^{おお} 草丈^{くさたけ}は約^{やく} 1 5 ~ 6 0 c m

【特 徴】^{とくちょう} 一つの果実^{ひと かじつ}に約^{やく} 1 5 0 0 個^この小さな種^{ちい たね}が入っているよ。^{はい}

^ね 根^はと葉^{まわ}から周^{しよくぶつ}りの植物^{せいちょう}が成^{ぶっしつ}長^だしにくい物質^{ぶつしつ}を出^だすよ。

^{がつ} 4 月^{がつ} ~ 6 月^{いろ}にかけてオレン^{はな}ジ^さ色の花^さを咲^さかせるよ。

【雑 学】^{ざつがく} 茎^{くき}を切^きると、黄^{きいろ}色の液^{えきたい}体^でが出^でてくるよ。

ヨモギ

(*Artemisia maximowiczii*) ^{もく}キク^か目キク科



【^{せいそくち}生息地】^{ひあ}日^{のはら}当たり^{みちばた}のよい野原や道端

【^{おお}大きさ】^{くさたけ}草丈^{やく}は約50～100cm

【^{とくちょう}特徴】^{せいちょう}成長^{はや}が早く^{はる}て、^{しんめ}春の新芽^{とし}はその年^{あき}の秋には1mくらいになるよ。

^{たねんそう}多年草^{ねん}で1年^はごとに^お葉が^ね落ち^{ねん}るけど、根は5年くらい^い生きているよ。

【^{ざつがく}雑学】^{むかし}昔^{きゅう}からお灸^{つか}の「もぐさ」に使われているよ。

^{くさもち}草餅^{みどりいろ}の緑色^だを出すために^{つか}使われている^{くさ}草だよ。

オオオナモミ

(*Xanthium occidentale*) キク^{もく}目キク^か科



【生息地】^{せいそくち}畑地、^{はたち}空地、^あ空^ちき地、^{かせんじき}河川敷

【大きさ】^{おお}草丈は約120cm

【特 徴】^{とくちょう}1個の果実の中に^こ大小^{かじつ}2個の^{なか}種子^{だいしょう}が入っていて、^こ芽^{しゅし}を^{はい}出^めす時期^だを^{きかん}わざとずらしているよ。

【雑 学】^{ざつがく}実のトゲを^みヒント^{にちじょうせいかつ}にして、日常生活^{つか}で使われている
「^{めん}面ファスナー^{はつめい}」が発明されたよ。

^{かじつ}果実には^{せんたん}先端^まが^{かぎじょう}曲^{とげ}がった^{たね}鉤^{はこ}状^{はこ}の^{はこ}棘^{はこ}があって、これが
^{どうぶつ}動物の^{からだ}体に^ひ引^{たね}かかかって^{はこ}種^{はこ}を^{はこ}運^{はこ}んでもらうよ。

^{むかし}昔は^こ子ども^なが^あ投げ^{ふく}合^ひって^つ服^{あそ}に^{あそ}引^{あそ}っ^{あそ}付けて^{あそ}遊^{あそ}んでいたよ。

イ（イグサ）

(*Juncus decipiens*) イグサ^{もく}目イグサ^か科



【生息地】^{せいそくち}ため池^{いけ}、^{かせん}河川^{しっち}、^{すいろ}湿地^{水路}、

【大きさ】^{おお}草丈^{くさたけ}は約^{やく}1 m

【特徴】^{とくちょう}先の^{さき}とが^{ほそ}った^{くき}細い^{たばじょう}茎^はが束状^はに生えているよ。

^{がつ}5月^{がつ}～^{くき}7月^{せんたん}には茎^{すうじゅっこ}の先端^{しろ}に^{はな}数十個^{はな}の白い花^{はな}をつけるよ。

^は葉^{たいか}は退化^はしてなくなっているよ。

【雑学】^{ざつがく}イグサは「^まちまき^{たたみ}」を^{ざいりょう}巻く^{つか}ひも^{つか}や^{つか}畳^{つか}の材料^{つか}として使われているよ。